

我究図④ 高野郁子さん（大学4年・商社内定）

- Being** … 周りに寄り添うことを大切に、仲間と目標に向かって努力する人
- Having** … 仲間、大切にしたい人たち、専門性（英語、会計）、人間性
- Giving** … 誰かの「やりたい」に対して、伴走し、一緒に走り抜ける

人生の最期 … 大切な人たちに囲まれ、“人に恵まれた”と思える最期を迎えたい
(夫、子ども、友人、仲間…)

「コーポレートパーソンの究極を目指したい
⇒ コーポレートの人間として、たくさんの人と信頼を築きたい!!」

40～50代 … 「この分野なら〇〇さんに聞けば大丈夫!」と信頼してもらえる人になる（スキル面・人間性面）
事業会社のCFOを目指す（コーポレートパーソンの究極体だと思うから）

30代 … 海外に挑戦したい。海外というフィールドでコーポレートパーソンを追求したい

20代 … 周りの先輩方からたくさん吸収して、自分の武器を身に付けたい ⇒ “吸収の20代にする”

社会人 … （「会計」と「英語」という専門性をベースに、コーポレート部門でチームプレーヤーとして
営業とチームを組んで、プロジェクト実現に向けて走り抜きたい）

現在

大学3年生 … 我究館に入る。仲間との活動等を通してチームで目標に向かって頑張ることに喜び、
自分がどう貢献できるかもがく

大学 … 会計の道を志すようになる。試験は挫折するも、会計系の長期インターンを通して、
会計というツールを用いて人に貢献することに喜びを感じる
⇒ “自分の武器を持って他者に貢献したいと強く思うように”

高校生 … 部活動等を通して、チームで目標に向かって頑張ることの喜びを知る
チームの中で自分が「チームプレーヤーでありながらサポーター」でありたいことを実感
⇒ “孤独を知ったからこそ、より周りが大切になった”

中学2年生 … 日本に帰国。復学。周りの友達との間に4年の空白があることに「孤独」を感じる
⇒ “自分の価値の模索を更に深めた期間”

小学6年生 … 再度転校。周りに恵まれながらも、ネイティブのように発音できない自分に
コンプレックスを感じる ⇒ “周りの目が気になるように”

小学4年生 … 海外に転校。全く英語も話せず、周りに日本人もいない中で初めて「孤独」を知る
⇒ “自分の価値を模索するように”

小学生 … 人に恵まれた小学校生活を送る。周りに常に仲が良い人がいる日々だった

誕生